



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社  
コード番号 2222 URL <http://www.okashinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,185	12.6	263	△16.7	266	△16.6	133	△36.0
25年3月期第1四半期	4,604	8.3	315	290.5	319	300.8	208	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 128百万円 (△35.2%) 25年3月期第1四半期 198百万円 (791.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.89	—
25年3月期第1四半期	20.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	13,651	6,907	50.6	665.84
25年3月期	13,754	7,089	51.5	683.47

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,907百万円 25年3月期 7,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,430	6.3	860	4.7	860	3.6	470	△5.5	45.31
通期	21,750	5.3	2,100	12.2	2,100	11.1	1,170	12.2	112.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	10,373,840 株	25年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	364 株	25年3月期	364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	10,373,476 株	25年3月期1Q	10,373,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、厳しさが残る雇用・所得環境に加え、原材料価格の上昇や消費税増税など先行きに対する懸念は払拭されておらず、楽観視できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新業態へのチャレンジと高い価値の創造に向け2013年経営スローガン『ニューコンセプトメーカー』を掲げ、新ブランド、新商品開発及び新規事業の推進、海外展開への着手などの事業施策を積極的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,185百万円（前年同期比12.6%増）と堅調に推移いたしました。利益面では売上総利益率が前年同期の51.3%から52.2%と0.9ポイント増加した一方、新規出店の立上費用の発生や新規事業関連費用の増加、通信販売の新規顧客獲得に向けた広告宣伝費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は263百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益は266百万円（前年同期比16.6%減）、四半期純利益は133百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

従来、「その他」に含めておりました「ジャパルシー」については、量的な重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、前年同四半期の算定方法につきましても当四半期の区分に組み替え後の数値に基づいて算定しております。

#### ① ケイシイシイ

ケイシイシイは、15周年を迎えた「ルタオ」の記念スイーツ「メルクーヘン」や新感覚の生ゼリー「メランジェリー」など新商品投入により夏ギフト対策の強化に努めました。通信販売では、DM企画の充実、楽天市場などのネット通販対策の強化に注力いたしました。

その結果、売上高は、通信販売及びグループ向け売上が伸長したことなどにより1,832百万円（前年同期比10.9%増）となりました。利益面では、通信販売の新規顧客獲得に伴う広告宣伝費の増加や7月初旬に東京・表参道にオープンしたアントルメグラッセと生グラスの専門店「GLACIEL（グラッシェル）」の立上費用の発生などにより販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は125百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

#### ② 寿製菓

寿製菓は、出雲大社の大遷宮行事により観光客が増加傾向にある山陰地区において「因幡の白うさぎ」など主力商品の販売強化や20周年を迎えた「お菓子の壽城」のイベント開催など地元対策の強化に注力いたしました。その結果、売上高は1,847百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は153百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

#### ③ 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・高速道路などの交通機関チャンネルを中心に、販売強化に努めました。中部地区では発売3年目を迎えた「小倉トーストラングドジャ」及び新商品「伊勢奉祝えび煎餅」の拡販などに取り組みました。その結果、売上高は1,034百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は38百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

#### ④ 九十九島グループ

九十九島グループは、「赤い風船」の主力商品「フォンダンフロマージュ」の販売強化に注力したほか、福岡大名にフレンチトーストの専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」を6月下旬にオープンするなど新業態に取り組みました。その結果、売上高は697百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は9百万円（前年同期比126.0%増）となりました。

#### ⑤ 但馬寿

但馬寿は、「伊勢奉祝えび煎餅」などグループ向け売上が堅調に推移した結果、売上高は251百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は10百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

#### ⑥ シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、社内体制の充実及び販売力の強化に注力いたしました。売上高は、前期に東京駅構内に出店した「ザ・メープルマニア」などの出店効果により512百万円（前年同期比91.8%増）となり、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

⑦ ジャパルシー

美と健康をテーマに事業を展開するジャパルシーは、昨年10月より試験的に事業を開始し、本年5月に本格的に事業を開始いたしました。「栃の実」、「藍」などの天然由来の素材を活かした健康食品を主力にシャンプー、ボディシャンプーなどのパーソナルケア製品や化粧品ブランド「アイサクラ」を商品群に加え、新規会員の増大に注力いたしました。その結果、売上高は47百万円となり、営業損失は45百万円（前年同期は営業損失31百万円）となりました。

⑧ その他

その他は、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。売上高は11百万円（前年同期は1百万円）となり、利益面では2期目を迎えた新規事業の人件費の増加などにより営業損失は15百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,651百万円となり、前連結会計年度末と比べ103百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少（183百万円）、受取手形及び売掛金の減少（300百万円）、流動資産におけるその他の増加（143百万円）、固定資産におけるその他の増加（106百万円）などの要因によるものです。

負債は、6,743百万円となり、前連結会計年度末と比べ79百万円増加いたしました。主な要因は、流動負債におけるその他の増加（432百万円）、未払法人税等の減少（297百万円）、長期借入金の増加（236百万円）、賞与引当金の減少（160百万円）、1年内返済予定の長期借入金の減少（142百万円）などの要因によるものです。

純資産は、6,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による増加（133百万円）、配当金の支払いによる減少（311百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント減少し、50.6%となり、1株当たり純資産は665円84銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、当第1四半期業績は概ね計画どおりで進捗いたしており、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字（平成25年5月13日付「平成25年3月期決算短信」）からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,647,934	2,464,028
受取手形及び売掛金	2,145,427	1,845,093
商品及び製品	592,651	647,763
仕掛品	26,452	28,107
原材料及び貯蔵品	329,949	339,301
その他	387,657	531,344
貸倒引当金	△10,029	△8,399
流動資産合計	6,120,041	5,847,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,991,335	3,011,207
機械装置及び運搬具（純額）	561,731	561,091
工具、器具及び備品（純額）	222,689	229,973
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産（純額）	30,717	25,625
建設仮勘定	62,498	111,952
有形固定資産合計	6,369,637	6,440,515
無形固定資産		
投資その他の資産		
その他	1,223,062	1,329,328
貸倒引当金	△89,076	△91,088
投資その他の資産合計	1,133,986	1,238,240
固定資産合計	7,634,853	7,803,783
資産合計	13,754,894	13,651,020
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	758,528	712,292
短期借入金	2,000,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	618,804	476,258
未払法人税等	439,214	141,881
賞与引当金	361,847	201,753
その他	891,718	1,324,148
流動負債合計	5,070,111	4,906,332
固定負債		
長期借入金	550,813	787,650
退職給付引当金	784,326	793,987
その他	259,686	256,014
固定負債合計	1,594,825	1,837,651
負債合計	6,664,936	6,743,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	4,522,054	4,344,609
自己株式	△326	△326
株主資本合計	7,062,689	6,885,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,269	21,793
その他の包括利益累計額合計	27,269	21,793
純資産合計	7,089,958	6,907,037
負債純資産合計	13,754,894	13,651,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,604,160	5,185,146
売上原価	2,242,209	2,480,306
売上総利益	2,361,951	2,704,840
販売費及び一般管理費	2,045,953	2,441,715
営業利益	315,998	263,125
営業外収益		
受取利息	73	38
受取配当金	1,373	1,840
受取地代家賃	4,533	4,029
その他	8,592	7,771
営業外収益合計	14,571	13,678
営業外費用		
支払利息	9,811	8,001
その他	1,410	2,386
営業外費用合計	11,221	10,387
経常利益	319,348	266,416
特別損失		
固定資産売却損	39	76
固定資産除却損	—	1,097
特別損失合計	39	1,173
税金等調整前四半期純利益	319,309	265,243
法人税等	110,319	131,484
少数株主損益調整前四半期純利益	208,990	133,759
四半期純利益	208,990	133,759



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,990	133,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,886	△5,476
その他の包括利益合計	△10,886	△5,476
四半期包括利益	198,104	128,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,104	128,283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	1,567,679	1,138,045	971,776	584,175	73,838	266,923	—
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85,274	572,713	26,133	69,831	157,598	—	—
計	1,652,953	1,710,758	997,909	654,006	231,436	266,923	—
セグメント利益 (△は損失)	176,550	125,049	51,578	4,118	14,922	△12,371	△31,955

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	4,602,436	1,724	4,604,160	—	4,604,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	911,549	—	911,549	△911,549	—
計	5,513,985	1,724	5,515,709	△911,549	4,604,160
セグメント利益 (△は損失)	327,891	72	327,963	△11,965	315,998

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△11,965千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額128,670千円、セグメント間取引消去額3,316千円、たな卸資産の調整額△2,626千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,325千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シユクレイ	ジャパル シー
売上高							
外部顧客への売上高	1,644,909	1,238,165	1,034,755	624,760	71,948	512,057	47,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187,676	609,025	—	73,217	179,622	—	—
計	1,832,585	1,847,190	1,034,755	697,977	251,570	512,057	47,320
セグメント利益 (△は損失)	125,726	153,245	38,379	9,307	10,993	△2,869	△45,461

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	5,173,914	11,232	5,185,146	—	5,185,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,049,540	351	1,049,891	△1,049,891	—
計	6,223,454	11,583	6,235,037	△1,049,891	5,185,146
セグメント利益 (△は損失)	289,320	△15,196	274,124	△10,999	263,125

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業、通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額△10,999千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額142,228千円、セグメント間取引消去額2,969千円、たな卸資産の調整額△2,397千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153,799千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より「その他」に含めておりました「ジャパルシー」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。